



よつわ

令和2年 12月18日

柏崎市大字安田1455

電話:22-4315

FAX:22-1518

E-mail:tajiri@kenet.ed.jp

令和2年を振り返って

校長 三宮 一行

よつわの森の樹々の葉がすっかり落ちて冬の姿になってきました。子どもたちは落ち葉を使って遊んだり追いかけてっこをしたりしています。グラウンドには昼休み開始と同時に飛びだしてきたサッカー好きの元気な子どもたちが見えます。よつわ教室に向かうと縄跳びをしている子どもたちがいます。交差跳びや二重跳びに繰り返し挑戦したり、30秒で何回跳べるか競ったりしています。奥の方では上手にできるようになったと夢中になってコマ回しに興じる姿も見えます。2階の児童会室では総務委員会が「お悩み相談室」を開いています。透明アクリル板を間に置き、距離をとりながらも下学年の“お悩み”に耳を傾けています。図書室やわかば教室をのぞくと換気のため少しひんやりとした中で静かに読書をする子やお絵かきを楽しむ子もいます。それぞれが楽しい時間を過ごす姿を見ているとほのほのとした気持ちになります。

さて、いよいよ今年も押し迫ってきました。振り返ってみると今年は雪のない冬、夏の猛暑、オリンピックの延期、新首相の誕生、はやぶさ2のカプセル帰還など様々なことがありました。しかし、何といても一番大きな出来事は新型コロナウイルス関連の様々な社会変動です。学校も大きく変わりました。在校生のいない入学式、1年生を迎える会のない年度始まり、制限される交流、臨時休校、分散登校、短い夏休み、行事の中止や延期、分散実施や入場制限、全校で集まる機会の消失、会話のない給食、マスク着用と手洗いの日常、校舎内を消毒する毎日……。学校の大きな変化や先が見通せないことに苦慮する一年でした。しかし、子どもたちは負けていません。音楽会で6年生が宣言した「今年の6年生がかわいそうなんて言わせません！」という言葉が胸に深く刻まれています。「今年しかできない！今年だからできる！」ことを全力でやっていく、そのしなやかな姿に私のほうが励まされています。社会の状況が改善するのはまだまだ先でしょう。先が読めない時期はこれからも続いていくと思いますが、学校としてはこれからも知恵を絞り、児童の成長を支えていきます。

今年一年のご協力を深く感謝申し上げます。どうぞよいお年をお迎えください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する最近の田尻小の取組について

- ・校外に出向いての学習活動や校外の講師を招いての学習を中止または延期しています。
- ・委員会活動やふれあい班での活動について、会場の分散や規模の縮小などの対策を十分にとった上で実施しています。
- ・保護者の皆様からは朝の体温測定を春以来ずっと毎日協力いただいています。感謝に堪えません。加えて、登校時に玄関でサーモグラフィーを使っての体温確認をしています。
- ・校内の消毒は学校職員によるこまめな実施に加え、8名の方が消毒作業員として協力くださっています。放課後、校内を毎日消毒していただいています。
- ・後援会のご支援で教室に加湿器を設置いただきました。教室内の湿度を保てるよう稼働させています。
- ・教職員も毎朝検温し、管理職が確認しています。加えて各自の行動履歴も継続して記録しています。